



06 いやし せんきょうし

げつようび

エペソ
6章 12~13節

わたしたちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、いっさいを成し遂げて、堅く立つことができるように、神のすべての武器をとりなさい。

わるいサタンは、私たちの現場を掌握しています。成功したように見える各国の統治者と権威ある者を支配しています。私たちは、このような、やみの世の中の支配者と、天にいる悪霊について知っていなければなりません。彼らは、世の中の方法では絶対に勝てない存在です。神様が、これらすべてをあらかじめご存知で、この地にキリストを送ってくださいました。そして、キリストを通して、すべてを完了してくださいました。キリストを主人としてお迎えした私たちに、サタンとの戦いに勝利して成功者を生かすために、「ただ聖霊に満たされなさい」と言われました。

聖霊に満たされるためには、サミットの時間を持たなければなりません。朝、起きて10分、寝る前に10分、昼間に10分だけ持てばよいのです。はじめはうまくできないこともあります。しかし、毎日、繰り返してみると、自然に成り立つようになるでしょう。私の勉強、タラント、未来も、この時間に発見できるでしょう。これからは、霊的サミットの力で、世の中をいやす宣教師の役割を味わいましょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.



きょうのいのり

神様、現場を暗やみの勢力が掌握しています。聖霊の満たしを味わって、この世を生かす力が与えられますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



聖書を直接開いて、() にあてはまる語句をいれましょう。
神様が私にくださったまことのいやしを味わいましょう。

わたしたちの () は
 血肉に対するものではなく、
 ()、()、
 この暗やみの () の () たち、
 また、天にいるもろもろの () に
 対するものです。
 ですから、邪悪な日に際して
 () できるように、
 また、いっさいを () て、
 () ことができるように、
 神の () をとりなさい。

エペソ 6章 12~13節



きょうのでんどう

会う人

Grid area for writing the daily devotion.

準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.



サミット せんきょうし

ローマ
16章 27節

知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、御栄えがとこしえまでありますように。アーメン。

25時は、人間の時間を超えることを言います。世々にわたって長い間隠されていたが、いまや現されたこと、そして、とこしえまであること、すなわち、神様の力の時刻表です。弱くてたりない私たちが、神様が私たちとともにおられるので、25時を味わうなら、神様の力が私たちを通して現れるのです。この力は、すべてをゆずっても、だいじょうぶである力です。

25時を通して受ける力を持てば、みことばを通して、だれも見ることができない未来を見るようになります。だれも教えてくれなかったけれど、神様が分かるようにして下さることだからです。そうすれば、だれも行かないところに行き、だれもできないことができるようになります。神様の力はオンリーワンのものなので、だれもついてくることができません。また、戦ったり競争したりしないで勝利できる奥義でもあります。今日、神様に祈りながら、25時を通して受ける神様の奥義の力によって、世の中を生かす時間を持ちましょう。私の現場で霊的サミットの宣教師になって、絶対不可能だと見えることに、神様の契約によって絶対可能な勝利をするようになるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、私の限界を超えて、25時の奥義を味わうことができますように。その力で時代と次の世代を生かすことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



与えられたそれぞれのテーマを見て、そのテーマの姿になっている私を想像して絵をかいてみましょう。
また、私だけが出来る挑戦を考えて祈りましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Grid area for writing the 'きょうのでんどう' (Today's Story) and '準備する資料' (Preparation Materials).



しょうこに ついていった ひと カレブ

ヨシュア
14章 12節

どうか今、主があの日に約束されたこの山地を私に与えてください。あの日、あなたが聞いたように、そこにはアナク人がおり、城壁のある大きな町々があったのです。主が私とともにいてくだされば、主が約束されたように、私は彼らを追い払うことができます。」

神様の約束のとおり、モーセの後継者ヨシュアを通してカナンの地が征服されました。しかし、アナク山地は征服することなどとうていできないように見えました。そこにある城壁があまりにもかたくて、だれも行くことができなかったためです。そのとき、カレブが「主が私とともにいてくだされば、主が約束されたように、私は彼らを追い払うことができます。」という信仰の告白をしながらした挑戦によって、その土地を相続しました。すでに神様はカナンの地をくださったという事実をカレブは信じていたので、そのような告白と挑戦ができたのです。

神様はイエス・キリストを信じて神の子どもになった私にも、永遠のいのちと神の国を約束してくださいました。(ヨハネ3:16、ピリピ3:20) 福音によって変わっていく世界の証人になることも約束してくださいました。(使徒1:8)

私たちも、カレブのように、なにも恐れず、神様がくださった約束を信じましょう。約束してくださいました神様が、いまも私とともにおられ、導いてくださっています。神様が私にくださった約束を信じて挑戦する弟子になりましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、カレブのように、神様がくださった約束をかたく握って挑戦する信仰を増し加えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いろをぬろう

85歳の老人カレブが、新しい指導者ヨシュアの前で大胆に信仰の告白をしています。私は危機のときに

どんな姿なのかを考えながら、下の絵に色をぬりましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

ヨシュアの かくれた こくはく

ヨシュア
24章 15節

もしも主に仕えることがあなたがたの気に入らないなら、川の向こうにいたあなたがたの先祖たちが仕えた神々でも、今あなたがたが住んでいる地のエモリ人の神々でも、あなたがたが仕えようと思うものを、どれでも、きょう選ぶがよい。私と私の家とは、主に仕える。」

次のレムナントはだれでしょうか。あててみてください。

1つ目、荒野での40年間、モーセの働きを助けて、最大の危機だったアマレクとの戦闘に出て行きました。

2つ目、部族の代表として、十二人いた偵察の一人として選ばれて、多くの人の不信仰の中でも、信仰を告白しました。

3つ目、後ほどモーセの後継者になって、イスラエルの民の前で信仰の告白をしました。神様がヨルダン川を渡らせてくださり、エリコの城壁を崩されると信じたからです。また、エモリ連合軍と戦って、いままでもこれからもない、空前絶後の勝利の答えを与えてくださる方法も信じました。

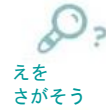
ピンポン！そうです。それはヨシュアです。

私たちも、ヨシュアのように、神様がくださったみことばを契約として握って、集めましょう。そうすれば、神様が信仰によって挑戦する力を与えてくださるでしょう。そのようなレムナントは、ヨシュアのように、237か国を征服するというみことばの成就を答えとして受けるようになるでしょう。契約の中で信仰の告白と挑戦を始めましょう。

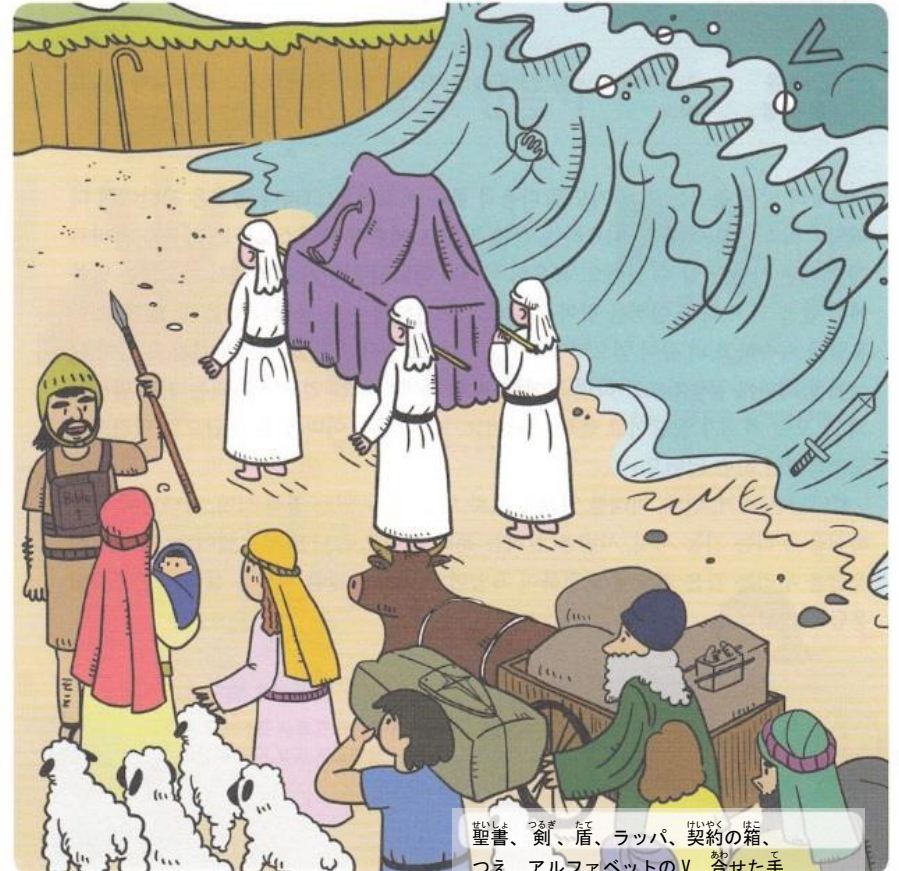
きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ヨシュアのように、神様のみことばを契約として握って、挑戦します。全世界237か国を福音で生かしてリードする霊的な指導者になるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ヨシュアが民とともにヨルダン川をわたっています。8つの絵が隠れています。絵を探しながら、私がかつたることができずにいるヨルダン川はなにか、神様に正直に質問しましょう。



聖書、剣、盾、ラッパ、契約の箱、つえ、アルファベットのV、告せた手

きょうのでんどう

あ ひと
会う人

じゅんび じりょう
準備する資料



こたえを あじわう いのり

マルコ
3章 14節

そこでイエスは十二弟子を任命された。それは、彼らを身近に置き、また彼らを遣わして福音を宣べさせ、

世の中の多くの宗教は、深い祈りで、心とからだをいやします。しかし、この深い祈りによって、たましいはサタンにすべて奪われてしまいました。たましいをいやす本物の祈りは、イエスがキリストという福音を正しく理解した人だけができます。福音を知っている神の子どもが礼拝で宣言されるみことばで答えを受けて、小さい実践を見つけて祈って挑戦するならば、本当の答えを受けられます。この答えを持続してさらに深く受けようとするなら、時間を定めて定刻祈り、24時常時祈り、答えが確実になるまで集中祈りをすれば良いのです。みことばの中で答えを受ければ、過去はすべてどだいきょうじたいが答えとなり、祝福になります。また、未来はすでに受けた答えとして発見できて、挑戦するだけで良いのです。

神様は、過去、現在、未来を霊的な目ですべて見る事ができる霊的サミット、神様がともにおられることを味わう技能サミット、人を生かす文化サミットとして私を呼ばれました。すでにくださった答えを味わう深い祈りに挑戦して、暗やみが去り、多くの人を生かす伝道者の答えを体験しましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、正確な福音を理解して、定刻、常時、集中の深い祈りができるように導いてください。そして、神様の約束どおり私を生かして、多くの人を生かす伝道者となるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



私はどんな祈りをしていますか。祈りが楽になるワークをして神様がくださる祈りの内容を確認しましょう。

深い祈りの中へ！ いのりのてをつく 祈りの手を作ろう

- 1 画用紙に私の手をおいて、手をなぞってかきまます
- 2 指に福音メッセージ(救いの道)をかきまます
- 3 あいているところに色えんぴつ、おりがみシールなどできれいに飾ります

手のかたちどおりに切り抜いてラミネートして机に貼って祈りましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



こたえを あじわう みことば

ヨハネ
1章1節

はじめに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。

神様を人の目で見えることはできません。私たちが見ることでできる神は全部、
偶像です。

それでは、どのようにすれば、目に見えない神様と会って知ることができるのでしょうか。この世を創造された神様は、聖書のみことばを通して私たちに語りかけてくださいます。それゆえ、神様に会って、神様の答えを受けようとするなら、まずはみことばを聞いて、そのみことばの流れに従っていくべきです。

最初に、みことばの中でイエスがキリストとして来られて、私たちが救われたという福音を知らなければなりません。その次に、講壇のみことばと〈子どもの祈りの手帳〉のみことばの中から、神様のみこころを見つけて、生活に適用しなければなりません。このみことばの道に従って行くとき、みことばの成就を見ることができて勝利できます。

「しかし、正しい人はその信仰によって生きる。」(ハバクク 2:4) というみことばによって命をかけて勝利したルター、ジャン・カルヴァンのように、みことばに従って生きて勝利するレムナントになりましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、イエス・キリストによって救ってくださりありがとうございます。毎日、みことばの導きに従って、聖霊に導かれて勝利するレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



たいりよく
体力を
つけよう

みことばを黙想して、祈るとき、集中できなくて、あくびばかりが
出ることがあります。その理由を確認して、あくびがなくなる運動を
学びましょう。

あくびが出てねむいときにする指圧法

あくびはなぜ出るのでしょうか。



あくびは、からだの中の酸素が足りない信号です。眠いときや、疲れているときに、自然に出来ます。あくびをすると、からだの中のごれた酸素がからだの外に出ていき、新鮮な酸素がからだの中に入ります。

01

こめかみ(目と耳の間の少しへこんだところ)を両手の指で押します。



02

みけん(目と目の間)を親指と人差し指でつまんで押します



03

耳を紙をたたむようにたたんだり、開いたりします



04

ごうく(親指の付け根の少しへこんだところ)を押します



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料